

## 第15回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会が開催されました！

2月21日（日）に第15回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会が開催され、湯浅町代表チームは29市町村中20位、オープンチームは出場44チーム42位でした。

選手28名は多数の候補選手の中から選考され約4ヶ月にわたり、練習をおこなってきました。

●最上級生としてチームを引っ張ってくれました選手の感想を紹介します！



私はジュニア駅伝を中学一年生と三年生の二回参加させていただきました。今年は受験生ということもあり、ジュニア駅伝への参加をとて迷いました。ですが、母や先生、友達に背中をおされ、参加を決めることができました。

クラブを引退してから数ヶ月がたっていたので、体は思うように動かなかったのですが、練習をしているうちに、ベストタイムをだせるようになりました。本番は悔いなく走ることができました。私は今年ジュニア駅伝に参加しなかったら後悔していたと思います。この二年間、特に今年、ジュニア駅伝でとても良い思い出ができました。来年走る子もそんなふうになってくれたら良いなと思います。応援してくださった方々、ありがとうございました。 生駒 有起

僕はジュニア駅伝に今年始めて出ました。僕は勉強がピンチだったのになぜか入ってしまいました。最初は練習について行くのが精いっぱいでした。だけど友達や先生、コーチの支えもありながらがんばれました。しかし勉強と駅伝の両立は難しく、勉強をおこたったこともあったし駅伝の方をおこたってしまったこともありましたが、でも担任の江川先生の言葉をおもいだしてがんばれました。江川先生は「勉強と駅伝の両立ができなかったら、駅伝をやめろって普通に言うぞ!」と言われたので絶対に両立させてどちらも上手くやってみせるぞと思いました。そして僕は駅伝の時は本番にいけなくてくやしい思いをしたのでジュニア駅伝ではくいのこらないように走ることができました。この経験をいかして高校に行ってもがんばりたいです。 早 左近

僕はジュニア駅伝に2年連続で出場させてもらいました。正直、長距離は苦手でした。ですが駅伝をしていることでたくさんの人と関わって憧れの先輩が来て、色々な人に支えてもらうことができました。

初めて参加した時にオープンチームの5区を走らせてもらったのですが、そのタスキにつまったみんなの気持ちと走った後の達成感を感じる事ができました。

今年は走ることが出来ませんでした。支える側として選手をサポートすることで得るものは大きなものでした。

駅伝で培った経験をいかして、これからどんな事にでも挑戦したいと思います。 松原 彪雅

まず、キャプテンとしてタイムでチームを引っ張ることが出来なかったことを謝りたいです。情けないキャプテンでしたが最後までみんながついて来てくれたこと、うれしく思っています。五年連続出場の表彰もして頂きとても光栄です。

一緒にきつい練習を頑張ってきたみんな、支えてくれてありがとう。私にキャプテンを任せてくれた先生方、良い経験をさせて頂きありがとうございました。そして、今年もジュニア駅伝を応援して下さい。みなさん、たくさんの温かいご声援をありがとうございました。

最後の年は受験勉強との両立で本当に大変でしたが、それでも最後まで頑張れたことを自信にし、もうすぐ始まる高校生活に生かし、五年間のジュニア駅伝での思い出をこれからの頑張る力にしたいです。 吉田 璃花

私は5年間ジュニア駅伝に参加させていただきました。しんどくて辛い練習もありましたが、みんなで声をかけあって頑張ることができました。

そして周りの友達が支えてくれたり、地域の方が声をかけてくれたおかげでのりきることができました。ジュニア駅伝での経験を生かして、高校でも頑張りたいです。応援してくださったみなさんありがとうございました。 日野 遥香

私は今年初めてジュニア駅伝に参加させてもらいました。駅伝の事について分からない部分があり、不安や心配な部分もありました。しかし、監督はじめ、コーチやスタッフの皆さんが支えてくれたから本番までやってこれました。練習の面では、毎回の練習がとてもしんどく、ジュニア駅伝になんて入ったんだろう。と思う時もありました。でもしんどい時にメンバーの子が声をかけてきてくれ「がんばろう」という気持ちになり、のりきることができました。ジュニア駅伝で学んだことは、あきらめないこと、仲間を信じること、仲間と力を合わせることで、感謝の気持ちを持つことです。それを高校生活でも生かせるといいなと思っています。本当に良い経験になりました。最後に、応援してくださった湯浅のみなさんほんとうにありがとうございました。 有松 朱理

僕は駅伝に4回出場させていただきました。ジュニア駅伝の中で、仲間とともに頑張る力が身につきました。駅伝は一緒に頑張った仲間がいるから頑張れるし、タスキも任せられるんだと思いました。また、副キャプテンもさせていただき、みんなを引っ張っていく力も身につきました。

今回、僕は事務局の人、学校の先生、かんとく、コーチ、家族にたくさんの迷惑をかけてしまいました。ジュニア駅伝の経験を生かして、高校でも、勉強に、スポーツに生かしていきたいです。

4年間ありがとうございました。 畑 虎太郎